

神奈川私学保連
NEWS

新学期が始まって

神奈川県私学保護者会連合会

会長 市川昌廣

(横浜学園中学高等学校後援会会長)

あと一週間あまりで春休みを迎えようとしていたあの三月十一日、東北から関東にかけた広い地域で巨大な地震と共に大津波が発生し、世界最大級といわれる未曾有の災害となりました。

東北地方太平洋沖地震で被災された地域の皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。と共に、亡くなられた方々とご遺族に謹んでお悔やみを申し上げます。

そして、被災地域の日も早い復興を切にお祈り申し上げます。

■新一年生の保護者の方々に

私たちが住んでいる神奈川県は震度5強という地震に見舞われましたが、深刻な被害からは免れました。しかしこのたびのような大地震はまたいつ発生するかわかりません。あのあとに長野県で発生した地震や東海地震を連想させる富士宮市の地震（共に震度6強）などを思い起こしますと、私たちこそ油断禁物です。

そこでこの四月に入学された新一年生の保護者の方々に伝えたいです。

公立の小・中学校は通学規制区域があり自宅から学校まで比較的近いのですが、私学に通う皆さんはその距離が遠く利用する交通手段もまちまちです。登下校の途中でこのたびのような災害に遭つ

たらどうするかを、今のうちに考えておかねばなりません。

学校内でこのような災害に遭った場合は、学校の避難指示に従って行動すればよいのですが、それ以外の場所ではそうはいきません。自分の責任で判断しなければならぬからです。電車の中や駅の構内にいる場合、あるいはバスの中や歩行中の場合など、それぞれ対処方法を事前にチェックして、マニュアルを作っておく必要があります。避難場所や連絡方法を決めるため、お子さんと十分に話し合い、実際に通学する経路を一緒に行動してみてください。

特に小学一年生の場合は、まだ身体が小さく判断力も乏しく、知らない土地で遭遇するとパニックになります。自分のいる場所がどこなのかさえわからなくなる可能性があります。早め実践することを保護者の方々におすすめします。

■本連合会の活動の内容

この四月に入学された新一年生の保護者の皆さん、改めて、ようこそ私学においで下さいました。混迷する社会情勢の下で、お子さんを私学に奨められた保護者の皆さんに心より敬意を表します。

本会は、神奈川県内にある私立、小中高等学校それぞれのPTAや父母の会など

八十九の団体が加盟している連合会です。

活動の内容は、厳しい現実に向かい私学運営のかため、経常費に対する私学助成金増額運動であります。それは「県費助成金」の増額を熱意を持って県に要請すること、同じく、「国庫補助」の増額を強く国に要請する私学振興全国大会（毎年十二月開催・会場／東京日比谷公会堂）へ多数参加すること、などがその主たるものであります。

一方では、保護者の皆さんの教養講座の一環として、研修会・社会見学会などの事業も行っております。

昨年度（平成二十二年四月～平成二十三年三月）の研修会は二回あり、その内訳は、五月の定時総会後に行われたマリンバとサクソフォン、そしてピアノ奏者による「コラレーシヨンの特別演奏会」と、今年二月に行われた目の不自由なトロンボーン奏者・鈴木加奈子さんによる「コンサート＆講演会」がありました。

また社会見学会は、十一月に劇団四季横浜公演の「キャッツ観劇会」を行い好評を博しました。その他めずらしい施設の見学会（二十一年度は横須賀米軍基地・将校クラブでの食事会他、十九年度は国会議事堂・衆参両議院の大会議場見学会）などを催したこともあります。私学だからこそできる有意義な事業を毎年探しながら実践しているのです。

来る五月二十四日には定時総会があります。本年度も総会に続いて「特別演奏会」が用意されています。保護者の皆さんの多数のご参加を期待しております。

平成23年度

私学助成の概要

神奈川県くらし文化部学事振興課

私学助成につきましては、県教育における私立学校の果たしている役割や県内百十万人の児童・生徒の約二十五%に当たる二十七万人が在学していることを踏まえ、

- ① 教育条件の維持向上
- ② 児童生徒の修学上の経済的負担の軽減
- ③ 学校運営の健全性の向上

の三つを柱に様々な助成を従来から行っています。平成二十三年度の概要は次のとおりです。

一 当初予算編成方針

経済環境・雇用情勢は、引き続き予算を許さない状況になりますが、二十三年度当初予算の編成にあたっては、県民生活の安定確保を目指すとともに、明日の神奈川を担う子どもたちへの支援にしっかりと取り組むべく「神奈川未来づくり」を基本的な考え方として臨んだところであります。このことから、市町村とともに、それぞれの役割をふまえ、地域の実情に応じて将来につながる「新たな子育て支援施策」を「子育て支援神奈川方式」として実施いたします。県としては、私立幼稚園の教育・保育環境の向上や幼保一体化への対応を図るため、施設設備の整備に対して新たに支援するとともに、私立高等学校等生徒学費補助について、住民税非課税世帯に対し、高等学校等就学支援金とあわせて県内私立高校の平均授業料相当額を助成し、授業料の実質無償化を図っております。

二 一般会計

本県の平成二十三年度一般会計当初予算は、一兆七千七百六十三億九千二百百万円で、二十二年当初予算に比べ、百八十一億二千四百百万円、一・〇%の増となっています。

三 私学振興費

私学振興費につきましては、六百六億千七百七十九万円で、前年度に比べ、十八億五千二百八十八万七千円、三・二%の増となっています。

(一) 経常費補助

私立学校の経常的な経費に対する助成は、標準的運営費方式と補助率を維持しておりますが、県職員の給与改定、「少人数教育等きめ細かな学習指導の推進」の導入及び生徒数の増などの影響により、四百五十二億三千七百五十一万五千円で、前年度に比べ、二億三千三百六十二万五千円、〇・五%の増となっています。

校種別では、高等学校は、百八十八億千三百五十万三千円で、前年度に比べ、一・二%の増となっています。

中等教育学校は、七億四百十三万円で、前年度に比べ、一・四%の増となっています。

中学校は、五十六億六千九百七十四万円で、前年度に比べ、〇・八%の減となっています。

小学校は、二十二億三千二百八十八万八千円で、前年度に比べ、〇・一%の減となっています。

(二) 私立高等学校等就学支援事業

家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、高等学校等就学支援金及び学費補助により、家庭の教育費負担の軽減を図る事業で、予算額は、就学支援金と学費補助を合わせて、百二十億三千八百四十六万七千円で、前年度に比べ、百十一・〇%の増となっています。

なお、生活保護世帯に加えて住民税非課税世帯の高校生等についても、県内私立高校の平均授業料相当額を助成するなど、授業料の実質無償化を図っております。

(三) 私立学校生徒学費緊急支援事業費

保護者の失職や倒産等により、家計が急変した

児童・生徒の学費負担の影響を軽減するため、授業料を軽減した私立高等学校等に補助するもので、予算額は、三千八百六十八万八千円で、前年度と同額となっています。

(四) 私立学校施設耐震診断調査費補助

児童生徒等の安全確保と災害時の近隣住民の避難施設としての公共性を考慮して、耐震診断調査の促進を図られるよう学校施設の耐震診断調査費の一部に対し補助するもので、耐震診断未実施校が減少したことから、予算額は、三千三百四十万円で、前年度に比べ、六・七%の減となっています。

(五) 私立学校教職員退職金制度補助金

私立学校教職員に対する退職手当金の給付財源の一部を補助し、教職員の福利厚生の実現を図るものです。予算額は、八億三千九百四十八万八千円で、前年度に比べ、〇・二%の増となっています。

(六) 日本私立学校振興・共済事業団補助金

私立学校教職員の福利厚生の実現を図るため、私学共済の長期給付事業の一部に対し補助するものです。予算額は、五億八千四百六十一万九千円で、前年度に比べ、〇・八%の増となっています。

(七) 私学団体助成費

私学保護者会連合会をはじめ私学団体が行っている「いじめ・暴力」関連研修並びに「薬物乱用防止研修」等に対し補助するものです。予算額は、総額で、六百二十万円となっています。

(八) 公私立学校協調事業費

従来の公立、私立の枠組みにとらわれず、公教育を担う公私の高等学校が協調を深め、特色を生かしながら、共に向上できる環境づくりを行うための協調事業として、神奈川の高校展開催事業及び公私教員研修事業等を実施するものです。予算額は、百五十二万五千円となっています。

以上が平成二十三年度当初予算の主な内容です。今後とも、皆様の私学行政に対するご理解とご協力をよろしくお願い致します。

平成 23 年度当初予算私学振興費の概要

学事振興課

事業名等	平成23年度 当初予算額	平成22年度 当初予算額	比較増減	前年度比	摘要																									
[]は内数	千円	千円	千円	%																										
1 経常費補助	45,237,515	45,003,895	233,620	100.5	教育条件の維持向上、修学上の経済的負担の軽減及び学校経営の健全性の向上を図るため、私立学校の経常的な経費や特色ある教育への取組みに対し助成する。 ○県給与減額の復元による増 ○県給与改定の影響による減 ○一般補助への「少人数教育等きめ細かな学習指導の推進」の導入（高等学校、中等教育後期）																									
(1) 高等学校 [教育改革推進費]	[18,813,503 131,350]	[18,589,911 133,150]	[223,592 △1,800]	101.2																										
(2) 中等教育学校 [教育改革推進費]	[704,130 5,100]	[694,151 5,100]	[9,979 0]	101.4																										
(3) 中学校 [教育改革推進費]	[5,669,740 70,800]	[5,713,100 70,800]	[△43,360 0]	99.2																										
(4) 小学校 [教育改革推進費]	[2,232,188 32,100]	[2,233,458 32,100]	[△1,270 0]	99.9																										
(5) 特別支援学校	511,570	522,618	△11,048	97.9																										
(6) 幼稚園 [預かり保育推進費] [地域開放推進費]	[15,946,117 574,850] [118,000]	[15,844,159 487,370] [112,000]	[101,958 87,480] [6,000]	100.6																										
(7) 専修・各種学校 [高等課程] [専門課程] [一般課程・各種学校] [外国人学校]	[1,360,267 178,510] [1,013,652] [2,676] [165,429]	[1,406,498 187,969] [1,040,995] [3,528] [174,006]	[△46,231 △9,459] [△27,343] [△852] [△8,577]	96.7 95.0 97.4 75.9 95.1																										
2 私立幼稚園特別 支援教育費補助	1,146,208	1,089,760	56,448	105.2		障害のある幼児と共に学び、共に育つ保育を推進するため、障害のある幼児を受け入れる幼稚園に対し助成する。 ○補助対象園児数の増1,589←1,511人（78人増）																								
3 高等学校等就学 支援事業費	9,098,152	8,899,757	198,395	102.2		家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、高等学校等就学支援金及び生徒学費補助により、家庭の教育費負担の軽減を図る。 ・授業料 (単位:円)																								
4 私立高等学校等 生徒学費補助	2,940,315	1,944,858	995,457	151.2		<table><tr><th>区 分</th><th>支援額合計</th><th>就学支援</th><th>学費補助</th></tr><tr><td>生活保護世帯</td><td>420,000</td><td>237,600</td><td>182,400</td></tr><tr><td>市町村民税所得割非課税世帯 (年収250万円程度未満世帯)</td><td>420,000</td><td>237,600</td><td>182,400</td></tr><tr><td>年収250万円程度以上 年収350万円程度未満世帯</td><td>267,600</td><td>178,200</td><td>89,400</td></tr><tr><td>年収350万円程度以上 年収500万円程度未満世帯</td><td>214,800</td><td>118,800</td><td>96,000</td></tr><tr><td>年収500万円程度以上 年収750万円程度以下世帯</td><td>193,200</td><td>118,800</td><td>74,400</td></tr></table> ・入学金 99,000円（対象は年収750万円程度以下世帯） ○市町村民税所得割非課税世帯の単価増	区 分	支援額合計	就学支援	学費補助	生活保護世帯	420,000	237,600	182,400	市町村民税所得割非課税世帯 (年収250万円程度未満世帯)	420,000	237,600	182,400	年収250万円程度以上 年収350万円程度未満世帯	267,600	178,200	89,400	年収350万円程度以上 年収500万円程度未満世帯	214,800	118,800	96,000	年収500万円程度以上 年収750万円程度以下世帯	193,200	118,800	74,400
区 分	支援額合計	就学支援	学費補助																											
生活保護世帯	420,000	237,600	182,400																											
市町村民税所得割非課税世帯 (年収250万円程度未満世帯)	420,000	237,600	182,400																											
年収250万円程度以上 年収350万円程度未満世帯	267,600	178,200	89,400																											
年収350万円程度以上 年収500万円程度未満世帯	214,800	118,800	96,000																											
年収500万円程度以上 年収750万円程度以下世帯	193,200	118,800	74,400																											
(1) 高等学校等	2,800,989	1,854,479	946,510	151.0																										
(2) 専修学校高等課程	139,326	90,379	48,947	154.2																										
5 私立学校生徒学費 緊急支援事業費	38,608	38,608	0	100.0	保護者の失職や倒産により、家計が急変した生徒等への影響を軽減するため、授業料を軽減した私立高等学校等に対し助成する。 <table><tr><th>高等学校等</th><th>補助額 (円)</th><th>小中学校 生活保護相当世帯</th><th>補助額 (円)</th></tr><tr><td>生活保護相当世帯または年収250万円程度未満世帯</td><td>118,800</td><td>生活保護相当世帯</td><td>168,000</td></tr><tr><td>年収250万円程度以上年収750万円程度以下世帯</td><td>59,400</td><td>住民税所得割非課税 一定所得基準額以下</td><td>149,000 90,000</td></tr></table>	高等学校等	補助額 (円)	小中学校 生活保護相当世帯	補助額 (円)	生活保護相当世帯または年収250万円程度未満世帯	118,800	生活保護相当世帯	168,000	年収250万円程度以上年収750万円程度以下世帯	59,400	住民税所得割非課税 一定所得基準額以下	149,000 90,000													
高等学校等	補助額 (円)	小中学校 生活保護相当世帯	補助額 (円)																											
生活保護相当世帯または年収250万円程度未満世帯	118,800	生活保護相当世帯	168,000																											
年収250万円程度以上年収750万円程度以下世帯	59,400	住民税所得割非課税 一定所得基準額以下	149,000 90,000																											
6 私立学校振興資金 利子補給費	3,619	4,142	△523	87.4	教育環境の充実、災害時の安全確保を図るため、施設整備に対しその資金の融資あっせんを行うとともに利子の一部を補給する。 ・補助率 1.0%（償還期間10年以内） 1.2%（償還期間10年超） ・補給期間 10年間																									
7 私立学校施設耐震 診断調査費補助	33,400	35,800	△2,400	93.3	児童生徒等の安全確保及び災害時の避難施設としての公共性の観点か、耐震診断調査を実施する私立学校に対し助成する。 ・補助限度額 高3,400千円、小中1,800千円、 幼1,000千円、専各1,400千円 ・補助率 2/3以内																									
8 私立学校教職員 退職金制度補助金	839,048	837,674	1,374	100.2	教職員の福利厚生を充実するため、退職手当金給付財源の一部を助成する。																									
(1) 小・中・高等学校	493,632	497,261	△3,629	99.3	・補助率 県 18/1000																									
(2) 幼稚園	284,961	279,146	5,815	102.1	・補助率 県 13/1000																									
(3) 専修・各種学校	60,455	61,267	△812	98.7	・補助率 県 17/1000																									
9 日本私立学校振興 共済事業団補助金	584,619	579,727	4,892	100.8	教職員の福利厚生を充実するため、私学共済の長期給付財源の一部を助成する。 ・補助率 県 8/1000																									
10 私学団体助成費	6,200	6,100	100	101.6	中学高等学校協会他4私学団体の研修事業費等に助成する。 ・研修事業（いじめ薬乱除く） 4,440千円 ・いじめ暴力、薬物乱用防止研修 1,060千円 ・教育連携事業への支援 600千円 専修各種学校協会50周年事業 100千円																									
11 公私立学校 協調事業費	1,525	2,216	△691	68.8	公私立高等学校による協調事業を実施する。 ・神奈川の高校展事業 1,300千円 ・公教員研修事業 225千円																									
12 私立幼稚園 施設設備等補助	674,000	0	674,000	皆増	私立幼稚園の教育・保育環境の向上等のための施設整備に助成する。 ・幼保一体化対応事業 ・安全・安心な教育環境の整備事業 ・学習環境の向上事業																									
13 その他	13,981	321,766	△307,785	4.3	・私立学校審議会費ほか (22年度 私立幼稚園緊急環境設備費補助 307,855千円)																									
合 計	60,617,190	58,764,303	1,852,887	103.2																										

見直そう！日本の食文化

特集

はじめよう大豆の健康生活

大豆の摂取量が減少している！

アメリカの健康専門月刊誌「ヘルス」による**世界の5大健康食品**が発表されました。※1

なんと、その中に日本人の食文化に欠かせない「**大豆**」がランクイン！

日本人が長寿なのは大豆をたくさん食べているからなのかも知れませんね。

日本の大豆の他は、韓国のキムチ、スペインのオリーブ油、ギリシャのヨーグルト、インドのレンズ豆です。しかし、最近、食事の欧米化で、**大豆の摂取量が少なくなっています**。※2 下図参照
特に、中高生など若い方の大豆摂取量が顕著に少なくなっています。



日本では、国民健康づくりの一つとして

国民健康づくり運動
「健康日本21」

目標

豆類の摂取を**1日100g以上**に

カルシウムに富む食品の摂取量の増加のため



大豆は「畑のお肉」であり「ミラクルフード」

大豆は、「**畑のお肉**」と言われて、良質のたんぱく質が**約35%**も含まれています。

しかも**コレステロール0**さらに沢山の栄養素、「**ミラクルフード**」と呼ばれているのもうなずけます。

《ミラクルフード大豆の豊富な栄養素》

コレステロール **0** ゼロ



大豆炭酸飲料
(ソイッシュ)



大豆バー
(ソイジョイ)

4月からはじまる新生活に食生活も見直してみたいでしょうか？食事で大豆を摂れない時には、携帯性に優れている大豆バーなどを利用すると良いでしょう。すっきり大豆を摂りたい時には大豆炭酸飲料もおススメです。家族みんなで、日本人長寿の秘訣「大豆」をたくさん食べて大豆健康生活をはじめましょう！

食育を考える



今回の特集記事は、「食育」を取り上げました。原稿を大塚製薬・横浜支店に勤務されている加藤雄士氏（スポーツ栄養学博士）にお願いしました。大塚製薬・横浜支店には、4月の「神奈川私立中学相談会（5年連続）及び7月の「神奈川全私学（中・高）展（11年連続）」に無料かつ手弁当で、暑い中、来場していただいた生徒・保護者の皆さんに相当量の飲料を提供していただいております。

過日、昨夏の猛暑の中で発生した「熱中症」や「食育」についてお話しを伺う機会があり、わかりやすく熱中症をふるう姿に感動し、限られた原稿スペースですが原稿を依頼しました。

今からはじめよう熱中症対策！

知っていますか？熱中症

人の体液 = 水 + 塩分

汗って
しょっぱい！

熱中症とは、熱虚脱、熱疲労、熱けいれん、熱射病の**総称**です。特に蒸し暑い時にかかりやすい症状で、**命を落とす**こともある恐ろしい症状のことです。人の身体の約2/3水分です。その水分には、およそ0.9%のナトリウムが含まれています。汗って、しょっぱいですよね。**水だけでは熱中症を防げません。塩分もしっかり摂取しましょう！**

水分・塩分の摂取について

身体活動強度に応じて必要な摂取量などは異なりますが、WBGT基準値※2を超える場合は、少なくとも、0.1～0.2%の食塩水、**ナトリウム40～80mg/100mlのイオンウォーター**又は**経口補水液**等を、20～30分ごとにカップ1～2杯程度を摂取することが望ましいと言われています。※3

ナトリウムの量が少ないスポーツドリンクもあります。裏の表示を確かめてくださいね！！



イオンウォーター

※1 アメリカの健康専門月刊誌「ヘルス」2006年3月号より
※2 気温、湿度、輻射熱の3因子を取り入れた、スポーツ活動や労働時の熱中症予防の温度指標
※3 厚生労働省平成21年通達「職場における熱中症の予防について」より

第一回研修事業 キャッツ観劇

会計理事 星野 俊則
(アレセイア湘南後援会会長)

去る11月12日(金)に平成22年度第一回研修事業「キャッツ観劇」を私学保護者会連合会と私学保護者会交流会との共催で、開催いたしました。折しもAPEC開催中でみなどみらい地区は厳戒警備に守られての開催も印象に残りました。

ご存知のとおり劇団四季の「キャッツ」は、1983年の初演以来、全国のキャッツシアターで展開され、ここ横浜みなとみらいのキャッツシアターは、2009年11月にオープンしました。当日は、両団体より150名の方々が参加されました。

シアター内は、ステージと観客席が一体化したつくりで、猫に扮した俳優さんたちが、すぐ脇を通り過ぎるので、ステージばかり気にしている訳にはいきません。そんな俳優さんの息づかいをも感じる状態で公演に時の経つのもすっかり忘れてしまいました。

公演中に熱唱される名曲「メモリー」は、そのメロディと歌声にあらためて魅了されました。披露などの宴席で、この「メモリー」を入場曲として採用されたり聴いた事のある方も多いのではないのでしょうか？

あつという間の二時間超の公演終了時は、鍛えぬかれたエンターテイメントの高さで鳴り止まないカーテンコールの嵐でした。シアター内のキャッツグッズを思い思いに買い求めシアターを後にしました。

開催に当たってご尽力いただいた事務局ならびに関係者の皆様方に感謝いたします。



私学振興大会に参加して

監事 内田みち子
(横浜女学院中学高等学校後援会副会長)

昨年12月7日、私立小・中・高等学校の私学振興全国大会が日比谷公会堂で開催されました。

全国各地からたくさんの方々が、関係者や保護者の方々が、日比谷公会堂に参集しました。立つて参加するほど、子どもたちをとり巻く教育環境の危機の大きさを物語っていました。

この大会の趣旨は、子どもたちを教えることは、未来への投資として社会全体がこれらを支えるという理念の下、子どもたちがその個性や能力に応じて、学校を自由に選択できることが目標です。しかし私立学校においては教育施設・設備において著しく低く学校運営の安定性と継続性はかつてないほど危機に瀕しています。将来を担う



子どもたちの教育環境の充実整備は、子どもたちが自ら選択した私立学校で、質の高い特色ある教育を受けられるよう国公立学校に準じた国の財政支援が当然行われるべきであります。

左記の決議文が読み上げられました。

私立学校に学ぶ子どもたちの教育環境の一層の充実整備のあと一、国による私立高等学校等に対する経常費助成費等補助金並びに施設・設備関係補助金の拡充・強化。一、「高等学校等就学支援金制度」の改善をはじめ、国公私立学校間の保護者負担の格差是正。割れんばかりの賛同の拍手が鳴り響く中、閉会となりました。

第二回 いじめ・暴力対策協議会にて

理事 深沼 昭彦
(横浜清風高等学校PTA会長)

第二回の協議会は前回とは違い、学校運営研修会と合同で行われました。

この協議会は委員でもあり学校運営研究委員会委員長の夏村充先生から、佐賀県で行われた二〇一〇全国人権・同和教育研究大会の報告が行われました。次に横浜弁護士会弁護士宮下京介先生による「人権と法教育」の講演会が行われました。難しい話でしたが、人権と法教育は繋がりがあ

必要なことだと感じました。法律の下、人間は平等でありその法律を知らなければなぜ平等なのかはつきりと分からない訳です。ですから法教育は大切なもの、そして必要な事だと感じました。如何しても、法律関係の話は難しいと先入観で考えてしまいがちですが、生活して行く中で常に接している事柄であり、特に人権とは何かをしつかり理解すべき上では、欠かせないものと感じました。講演をお聞きして、人権を履き違えて理解することは大変危険なことだと、そして私たち保護者は子どもたちに正しい情報を与える義務があると再認識いたしました。これからも、この様な機会があれば参加させて頂きたいと思

学んでみませんか？

国際言語文化アカデミアの案内

神奈川県民局・学事振興課

◇国際言語文化アカデミアは、言語及び文化に関する講座などを通じ、県民の国際相互理解の促進を図り、国籍又は民族の異なる人々が、それぞれの文化及びその背景の違いを認め合い、地域社会の対等な構成員として共に生きる多文化共生社会の実現に寄与するための施設として、平成23年1月に横浜市中区(本郷台駅そば)にある「地球市民かながわプラザ」内に開設しました。

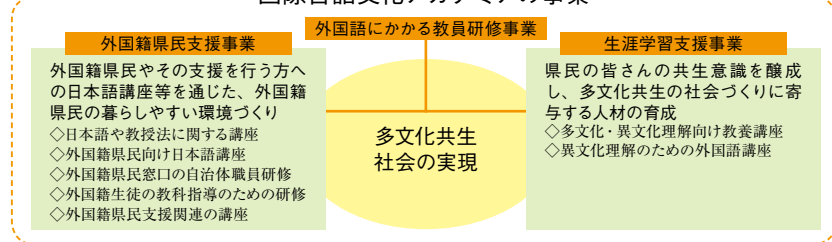
国際言語文化アカデミアは4月から本格的に事業を展開し、平成23年度は外国籍県民支援事業として、日本語の指導者養成、外国籍県民の日本語習得支援、25講座を開講、生涯学習支援事業として、異文化理解を通じての共生意識の醸成を図るための講座など19講座の開講を予定しています。

研修講座案内は、県庁地域県政総合センターの他、市町村の国際施策担当課、国際交流団体・ラウンジ、社会福祉協議会・市民活動センター等にあります。

また、研修講座案内は、神奈川県立国際言語文化アカデミアのホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/cn/f807/index.html>でもアクセスできます。

異なる言語や文化への理解を深めるための講座を多くの県民の皆さんが受講できるよう、これからも国際言語文化アカデミアの事業を充実させてまいります。

国際言語文化アカデミアの事業



第二回研修事業

鈴木加奈子さん コンサート&講演

トロンボーンに夢を乗せて

平成23年2月25日

場所 ● ホテルキャメロットジャパン

●ソロ活動も「Step by Step」

皆さんこんにちは。今日、横浜で演奏させていただけることを楽しみに参りました。私は、生まれも育ちも相模原市で、同じ神奈川県ですから横浜には遊びにも演奏にも何度か来させていたいただきました大好きな街です。～略～
私の演奏を聴くのは、多分ほとんどの方が初めてだと思います。～略～

オープニングの曲を全く紹介せずここまで来てしまいました。が、「Step by Step」という曲で私のオリジナルの曲です。「一歩ずつ」ということで私のソロ活動も、一歩ずつ着実に階段を昇っていくように、前に進んでいきたいという気持を込めて、ソロ活動を始めた頃に創った希望いっぱい曲でした。

次の曲にいきます。「シャウティン・リッツァ・トロンボーン」という長いタイトルがついていますが、トロンボーンのために創られた、とても珍しい曲で、トロンボーンの得意技をたくさん生かした楽しい曲になっていますので、トロンボーンの魅力がたっぷり味わってお聞きください。

(シャウティン・リッツァ・トロンボーン)

●トロンボーンに惹かれて

中学の時、この楽器に一目惚れ、とにかく惹かれるものがあってやってみたくてという思いが強くなりました。中学生の頃は今より視力がありましたが、教室ではいつも一番前の席で黒板の文字を写している状況、もちろん文字は見ることも書くこともでき、みんなと同じように学校生活をおくっていました。

吹奏楽部に入った時この楽器を希望したのですが、トロンボーンは形が長いので楽譜を遠くに置かないと吹けないのです。だから楽譜を見ながら吹くのは私の視力では難しいので、とにかく楽譜が覚えやすい、メロディーがたくさん出てくる楽器の方がいいのではないかとこのことで、先生がユーフォoniumを選んでくださいました。～略～

でも諦めきれず高校へ行って、部活の顧問にお願いしました。「それならやってみたら」ということで晴れてトロンボーンをやることになりました。～略～

そのまま大学へトロンボーン専攻で進み、4年間必死でみんなについていくという気持で、楽譜も1日に3曲も4曲も覚えなければいけない状況でした。徹夜をしたりしつつ覚えていました。

それでも楽器が嫌いになることは一度もありませんでした。卒業間際に視力が今までになく見えにくくなり、駅のホームでの駆け込み乗車で電車とホームの間に足を挟まれてしまったりと、ボールにおでこをぶつかったりと、そういうことが多くなって、私自身、前に比べ見えにくくなっているのかなという時期がありました。そんな中でも卒業するまでなんとか視力ももちました。

●ソリストへの道～10周年を迎えて～

音大を卒業して楽器で仕事をしていくためには、トロンボーンの場合にはオーケストラの道がありますが、オーケストラに入る場合は楽譜がつきまとうし、団体行動だし全く見えなくなっただけでプロとしてもやっていくのは難しいということになり、このソリストの道を選びました。これは私にとって大きなチャレンジで、～略～、私がソロをやることは、一般のお客様に喜んでもらえるのかなという不安がありました。しかし、本当に音楽を聴きたい、トロンボーンはこういう音だったのかという人たちが一人増え、また一人増えて、今年で10周年になります。

こうして続けてこられましたのも、音楽を聞きに来てくれる方々のお陰と感謝しています。ソリストとしてソロ活動を始められましたことも、こんな言い方したら誤解されるかもしれませんが、目が見えなくなってお陰で、この道が見つかったのだなと今は考えています。その時はこれからどうしたらいいのだろうという気持がいっぱいあったのですけれど、今はこうして皆さんの前に立たせていただけたことが、本当に嬉しくてこの楽器に出会えたことが良かったなあとずっと思っています。

そんな中で、今日呼んでいただいたのは昨年の夏に日本テレビの24時間テレビに私が出演させていただいたのを、たまたまご覧いただいたということで、お声をかけて頂きました。～略～
その時演奏したのがフォルス作曲のジュビターです。

トロンボーンは低音をじっくり味わってください。

(ジュビター)

●素直な気持ちで「ありがとう」

私は小・中学校時代に他の人より見えにくいという自覚はありました。もちろんハンデも時々出てきます。たとえばドッジボールなど球技系は本当に恐くて、～略～、私の6年生の担任だった先生のいらっしゃる学校を訪問した時、～略～ 先生の話

によると、当時のリーダーの何人かを呼んで「加奈ちゃん、みんなと一緒にできるかなあ。」ともちかけたそうです。～略～
小学生なりの自然な助け合いの中で一緒に参加できたというのを大人になってから聞いて「ああ、そうだったのか。」と改めて感謝したのを覚えています。

こんな感じで小学校、中学校の時、皆さんの助けがあったことを私が知らずに、素直にありがとうと言えずに来てしまったことを今では後悔しています。それにやっと気づけたのが見えなくなってからです。見えていた頃は人にぶつかったても「ごめんなさい。目が不自由なもので」と言えなくて、みんなと同じでなくてはいいけないという気持でいたので素直に「助けて！お願いします」と言えなかったのです。

実際見えなくなっていく中で、ちょっとしたことで皆さんに物理的に助けてもらうことが増えました。今、実際見えないので、助けてもらうことは素直に嬉しく、自然に「ありがとう」という言葉が素直に出せるようになりました。そのたった一言ですがもっと早くから気づいていたら、みんなに素直にありがとうと言えたのだなと思うのですが、そういう気持を今日また新たにもらったので、助けてもらうすべての方にどんどん伝えていきたい、そして私も何か恩返しをしていきたいと常に思っています。

●思い深い「ひかりのうた」

そういうことで次の曲も私の作った曲で「ひかりのうた」です。とても思い深い、思い入れの強い曲で、視力が低下してきて今、目で感じる光が段々と薄れてきたときに作った曲です。作った当初は、目で感じている光を「ずっと覚えていたい」から「メロディーにしたい」という気持で作りました。何年も演奏していくうちに目は光は、全くといっていいほど感じなくなっただけで、皆さんが助けてくれるという温かさがすごく伝わってくるようになりました。私自身も素直な気持ちになることができて、目で感じる光だけでなく、心で感じる光もあったのだなあと大人になってから気づくことができました。そのありがたさの感じをメロディーでお返ししたいと思って演奏しているとても大切な曲の一つです。目を閉じて周りの人を思い浮かべながら聴いていただきたい曲です。それではお聞きください。

(ひかりのうた)



(聖光学院 聖光会理事)

A woman with long brown hair, wearing a purple dress with white lace sleeves, is playing a gold trumpet. She is smiling and looking towards the camera. The background is a plain, light-colored wall.

ありがとつてございます。いろいろな今までありましたけれども、
 本当に今は幸せな気持ちでいっぱいです。こうして好きなことで
 皆さんと時間を共有できること、そして皆さんに少しでも笑顔
 で、元気で帰ってほしいなと思って、いつも演奏しているのです
 が、こういつつことに巡り会えてラッキーだったなと思っています。

●視覚障害者としての生活　　～盲導犬ナンシーと共に～

今、私自身は見えないですが、そうした中で生活に色々変化
 がありました。もちろん物理的に文字を見る、書くことはでき
 なくなりました。そんな中で出てきたのが点字です。～略～
 音楽をやって楽譜が見えないのは不便ですが、楽譜にも点
 字がありまして、それも読めるようになりました。～略～
 日常生活の中でいろいろ不便にはなりましたが、今の時
 代すごく様々な技術が進歩していて便利な道具がたくさん出
 ています。～略～

不自由な方に対して、サービスをしています。本当に皆さんのニーズに応えられているのかと日頃より思っています。鈴木さんのように活発に活動している方にとって、こんなことを補助事業でやっていただきたいと思うものがあれば、お聞かせください。(加奈子さん応答)最近色々な面で福祉について考えていたき道も歩きやすくなり、点字ブロックは充実してきましたが、まだついてないところもたくさんあります。また、せつかくある点字ブロックの上に自転車などを置かないでほしいです。

信号判断が難しいので、ちょっとでもピピロ鳴ると安心して渡れます。せめて大きな交差点にあつたらなあと思います。私自身もお願いすることもありますが、なかなか実現していただけないことが多く、もっと更にハード面で充実させていたかどうか、なんといっても声をかけ合える街づくりが、進めていけたらと思います。



● 一年間を振り返って

青少年と大人が共に担う
地域の活動を

理事 永沢 仁子

(横浜富士見丘学園中等教育学校PTA副会長)

7月10日、神奈川県青少年社会環境健全化推進会議が厚木文化会館にて開催され、内田監事と出席しました。親からの虐待、薬物乱用。身近な子供達の心の悲鳴を大人達は気付いてあげなくてはなりません。

子育てを支援する団体の「小田原びびよクラブ」では、若い新米ママを集めての勉強会や小中学生と赤ちゃんとの触れ合いの場を設けています。虐待が増える中、ママ同士が集い悩みを相談し合い孤独感から解放できる機会を与え先輩がアドバイスをする、とても大切な場です。また、いざれ出産・育児を経験して行く子供達が肌で生命の温もりを感じ、生きることへの幸せを実感して欲しいと思います。

コンビニ連絡協議会からは、町中数多く点在するコンビニこそ、かけこみポイントとして子供達の安全を確保する場所となり、学校と地域のコンビニとの連携が必要になると述べられました。夜中までたむろしたり一見親との関わりを薄くしてしまう危険性はあるけれども、朝食を取らずにいる子供への低価格の弁当を置いたり、天気の急変で困った時の貸し出しの傘の提供はありがたい取り組みです。ゴミの分別も身につきます。昔は学校周辺の駄菓子屋や文房具屋が子供と地域の大人とのネットワークの拠点でした。時代の流れでコンビニがその役割を担おうとしています。

私達は家庭や地域で青少年をしつかり受け止め、助け合いながら見守って行かなければなりません。大人も子供もその地域の一員であるならば、挨拶をひと言、今日から始めてみましょう。

学ぶことが多かった一年

理事 腰山 浩子

(武相中学高等学校後援会前会長)

本年度より、神奈川県私学保護者会連合会と名称が改まり、毎月の理事会によって諸行事が協議され取り組んでまいりました。

総会、全私学展、日私学保護連関東地区理事会私学助成の請願、年二回の研修事業、連合会ニュース発行、私学振興全国大会、神奈川県私学新春のつどい、その他各団体への参加など、充実した一年を皆さまのご協力のもと活動できましたことに感謝申し上げます。

その中でも、研修事業の講演会には、毎回素晴らしい先生方をお招きすることができ、諸先生の生き方に触れる、心に響くお話や演奏を間近で聞く機会を頂き、深く感動いたしました。

また、交通安全対策協議会や、暴力団根絶県民大会等に出席させていただくことによって、私たちが、安全で安心できる県民生活の実現に向けて、各地域で活動し、ご尽力いただいている方が大勢いらっしゃることを知りました。

その中でも、飲酒運転根絶県民大会で、結婚間近だった最愛のご子息を、相手の無謀運転の交通事故で亡くされた遺族会代表の方の悲痛な体験談には、涙を抑えることができませんでした。ご子息の無念を無駄にしたいくないと、生かされている立場からご子息のメッセージを伝えていこうと、悲しみの中から立ち上がった強い意志をお話から感じました。私もハンドルを握るドライバーの一人として、日々、安全運転を心がける責任を痛切に感じること共に、いつもと変わらない一日を送れることが、どんなに幸せなことかを改めて感謝して過ごさなければと強く思いました。

このように、活動を通して、多くの方との出会いがあり、学ぶことがたくさんありました。私自身も、身の周りの小さなことからでも社会貢献ができるよう親子で話をする機会を持ちたいと思っています。本年度も、本連合会の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

私学のサポーターとして

理事 佐久間 省三

(高木学園女子高等学校PTA会長)

小学校・中学校・高校の保護者の皆様、一年間ご協力本当に有難うございました。

昨年5月に総会で、私学父母連合会から私学保護者会連合会に名称を変え、私学関東大会・第一回研修会(キヤッツ観賞)・私学振興全国大会・私学新春のつどい・第二回研修会など、様々な行事を無事行えたのも皆様のお陰と感謝申し上げます。8月の私学関東大会は、神奈川県が運営し横浜の崎陽軒で開催となりました。他県の代表の方々と情報交換ができた。有意義な大会でした。11月に行われた第一回研修会(キヤッツ観賞)は感動的でした。初めて見るミュージカル、舞台だけでなく、観客席まで巻き込む躍動的演技、参加者の方々の心を魅了した事と思います。

12月に行われた私学全国大会では、全国の先生・保護者の代表が日比谷公会堂を埋め尽くし、来賓の国会議員の方々に私学の補助金他の訴えを行いました。感じた事は前政権与党の時は壇上半分を議員の方々が埋め尽くしていたが、最近壇上の議員席が半減寂しいな一と思いました。

2年間理事として運営に携わせていただき感じた事は、私学保護者連は私学のサポート役として大切な連合会だと感じました。

神奈川県私立中学高等学校案内

インターネット ホームページ

<http://www.phsk.or.jp>

内 容

- 学校情報 (環境、施設、行事、進路 等)
- 入試情報 (試験期日、試験科目 等)
- 英文情報 (入学情報一覧)

主な諸行事出席状況

◆ 10月25日 (月)

いじめ・暴力行為防止運動推進会議
(深沼理事)

◆ 11月4日 (木)・23日 (火)

社会環境健全化推進街頭キャンペーン
(永沢理事・内田監事)

◆ 11月28日 (日)

かながわ地球温暖化防止活動報告
(佐藤副会長)

◆ 12月2日 (木)・22日 (水)・1月31日 (月)

神奈川県交通安全対策協議会
(腰山理事)

◆ 3月17日 (木)

いじめ、暴力行為問題対策協議会
(市川会長 含め4名)

◆ 3月17日 (木)

神奈川県レジ袋削減実行委員会 (内田監事)

◆ その他

・日私学保護連理事会 (市川会長)
・神奈川県私学新春のつどい (1月14日)
・第二回研修会 (鈴木加奈子さん「コンサー
ト&講演」2月25日)

私学保護諸行事予定

◆ 5月10日 (火)

平成22年度5月理事会 (最終)

◆ 5月24日 (火)

平成23年度「定時総会」ホテル・キャメロット
*「特別演奏会」無伴奏でのチェロ演奏会 神
奈川フィルハーモニー・首
席奏者 山本裕康氏を予定

◆ 4月29日 (金・祝)

「神奈川県私立中学相談会」パシフィコ横浜展
示ホールD

◆ 7月18日 (月・祝)

「2011全私学(中・高)展」パシフィコ
横浜展示ホールCD